



RESTART
Challenge More.

ゆうばり 市議会だより

54号
2022.2



も く じ

大山 議長 あいさつ	P 2
第4回定例会市議会 一般質問 本田 議員	P 2
第4回定例会市議会 一般質問 千葉 議員	P 3
第4回定例会市議会 一般質問 今川 議員	P 3
意見交換会	P 4 ・ P 5
請願について	P 6
編集後記	P 6



大山修二

夕張市議会の
果たすべき役割を
念頭に

夕張市議会を代表いたしましたし、皆様により新春のお慶びを申し上げますとともに、平素より皆様には、市議会に対しまして特段のご支援とご協力をいただきありがとうございますことを心より感謝申し上げます。

早いもので拠点複合施設「りすた」の供用開始から2年が経とうとしていきます。これからも皆様にとって居心地の良い施設になるよう知恵を出しあっていきたいと思っています。

昨年から（仮称）夕張市立診療所・介護医療院の建設が始まり、ゆうばり丘の上こども園などが開設し、未来に向けて一步一步進んでおります。

昨年は交通事業者・夕張市PTA連合会との意見交換を開催でき貴重な意見を拝聴出来たことを感謝申し上げます。今年も多くの皆



様との意見交換等が出来ることを強く願っております。そのためには、市議会が一丸となって議会機能の充実強化を図るとともに、二元代表制のもと、議会の役割である「執行権に対する監視機能、議事を通じた決定機能、政策提案機能など」議会全体で取組み、執行機関との緊張感を保ちながら、議員一人一人がより一層心を引き締め、課題を解決し本市の更なる発展に尽力していきます。

今年も市議会に対しましてのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりましても幸福な一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

小学生が放課後に「りすた」を利用できるようにすべき



本田靖人

本田 小学校の児童が放課後に「りすた」を利用するためのルール作りの検討状況について。

教育長 小学児童の安全下校について、管理が隅々までできない現状においては、検討がなかなか出来づらい部分があり、放課後に「りすた」を利用するルール作りは遅れていると言わざるを得ない。

本田 小学校児童の放課後「りすた」利用には、全庁的な取り組みが必要ではないか。

市長 私もそう考える。下校時への向かう手段などの課題があるので、どのような手立てが講じられるか全庁的に検討を進めたい。

本田 「りすた」に隣接する公園を新たに作ることで、児童が「りすた」に集う動機づけにつながるものと考えているが、市長の見解は。

市長 その必要性については、私も同感である。整備の方向に向けての検討を進めていく必要があると考えている。

本田 「りすた」運営委員会のようなものを常設で設置する考えはないのか。

市長 常設の運営委員会というものも必要性も感じてい

る。また、そうした委員会に属していない市民からも広く意見を受け付ける仕組みも必要だと考えている。ご意見やご要望があった場合には、関係する方々にご議論いただくといいところから始めたいと考えている。

本田 よりスピード感をもってまちづくりを進めていくことが重要だと考えるが、市長の見解は。

市長 市民の皆様の意見も丁寧に吸い上げながら、スピード感をもって地区構想の成案を得ていく所存だ。

本田 来年度の早い段階で具体案をまとめ情報発信をすべきと考えるが、市長の見解は。

市長 今年度、地区構想策定作業を進めると同時進行で来年度実施することになる事業の準備をすすめ、少しでも早く成果につながるように取り組みしたい。

本田 市民に希望を持ってもらうためには、市長が、ロマンを語る大切ではないか。市長のロマンをできる限り具体的に語って欲しい。

市長 「りすた」やその周辺は、市の中心的な施設、地域であることから、市民の皆さんが活動していただける環境づくりや公園の設置をぜひ検討していきたい。「りすた」を中心にして、市民が活動を通じて安心して生活してもらえ、そんな街にしていきたいと考えている。

高校魅力化事業の見直しと高校存続の取組み



千葉 勝

千葉 真に高校生のためになる高校魅力化事業の見直し
の状況について

市長 今年度、夕張高校と夕張中学校の両PTA役員、地域の有識者、市教育委員会、地域振興課職員を構成員とした意見交換会の中で議論を進めています。

千葉 また、本事業の理解を深めていただくために、中学校の保護者や小中学校教員を対象とした説明会を行い、様々な意見をいただいた。意見交換会と説明会で、海外短期留学等の既存事業の見直しや市外からの生徒募集及び中長期的な改善点も含めて、現在、その意見を分析して、令和4年度に向けて事業の見直しに取り組んでいます。

市長 市外からの生徒の受け入れ体制について

現在のゆうばり小・夕張中の児童・生徒数の推移をみると、今後高校への進学率を向上させたとしても、将来的には、20名の生徒確保が困難な見込みである。

また、意見交換会でも市外からの生徒の受入れを考えるべきとの意見が出ております。夕張高校の存続は、子育て世代

の流出防止や地域の活性化の観点からも本市の重要施策と位置づけられております。まずは、将来に向けて、生徒募集の方法やその実現可能性を議論していきたい。

千葉 夕張高校がどのような高校を目指していくべきか市の考えについて

市長 道立高校の教育方針に
ついて、市が申し上げる立場ではないが、夕張高校を支援する立場として普通科高校を前提としています。

千葉 北海道教育委員会と今後の連携について

市長 今年度、夕張高校は、北海道教育委員会の事業である「地学協働活動推進実証事業」の中で、市内事業者と連携し、「炭鉄港による地域活性化」をテーマにそばをメインとした商品パッケージ開発に取り組み、その結果、ふるさと納税の返礼品に追加しました。

また、北海道教育委員会のICT活用授業指針に基づき実践事業を展開し、成果を全道に普及させることを目的とする「ICTを活用した学びのDX事業」において、夕張高校は空知管内唯一の推進校に指定され、先駆的な事業に取り組んでいます。

本市としても、引き続き北海道教育委員会と連携しながら、夕張高校の特色を生かした取組を進めていきたい。

市内のインターネット環境の整備について 家庭の高速回線環境と、公共施設の利便性の高い無線LANを求める



今川和哉

1. 市内全域での高速回線(光ファイバー)の普及について

今川 夕張市内1割の家庭が、光ファイバーのような大容量通信が可能な超高速ブロードバンドを利用できない状況にあり、この地域には若い世代の農家をはじめとした子育て世代も居住しているが、市内のインターネット環境の整備について伺う。

市長 現在光回線が敷設されていない地域は拠点地区以外の地域で、中長期的視点から新たな居住の抑制を図る地域も多く含まれる。今後長期にわたって維持管理が必要となる設備を新たに敷設することは、コンパクトシティ推進の観点からも当面難しい。

今川 一部の家庭が高速の回線を利用できていないという状況は、それによる格差と、教育の面でも不利益を受けているという問題があり、解決策が必要ではないか。

市長 教育における光回線未敷設地域に居住する児童、生徒への対応としては、ポケットWiFiなどの手法により通信環境を整えるため一定程度の助成ができないか検討を行う。

2. 公共施設の無線LANについて

今川 市の公共施設における無線LAN環境(Wi-Fi)の設置状況について伺う。

市長 市役所本庁舎、文化スポーツセンター、拠点複合施設「りすた」および公共的な施設として道の駅に無線LANが設置され、このうち市役所本庁舎と文化スポーツセンターは災害時にはすべてのプロバイダー向けに解放される。

今川 設置されているというだけでなく、利用者が使えているかが重要と考える。ホールにおいては動画配信のようなニーズも高く、拠点複合施設「りすた」についてはどういった利用を想定して契約を行っているのか。

市長 「りすた」内の無線LAN環境については、機器1台あたり30端末までの接続が推奨されており、WiFi機器6台を設置していることから、施設として最大180端末が接続できる。

今川 11月に行った子育て世代との意見交換会にて「拠点複合施設「りすた」の無線LANは遅い」という意見が出ていたところだが、どういった利用基準、速度での契約を行っているのか。

課長 スマートフォンの端末が1機器あたり30台、その機器が6台設置されており、施設全体としては180台のスマートフォンが接続できるという想定でいる。

交通事業者との意見交換会

議会基本条例に基づき、これまで様々な団体と意見交換会を実施してきましたが、今回は令和3年11月9日に市内南北軸における路線バスの運行を中心に、交通空白地域においてのデマンドバスの運行やタクシー乗車代金補助制度を利用してのタクシー運行を行っています。第一交通事業者の夕張鉄道株式会社、第一交通株式会社、丸北ハイヤー有限会社と意見交換会を開催しました。



夕張鉄道株式会社

文化スポーツセンター研修室で夕張鉄道株式会社から社長他四名と議員七名で意見交換を実施しました。

夕鉄 地域間交通について4系統で国と道から補助金を貰っている。

補助金の対象には、収入の上限と下限があり、その中間でないと補助対象とならない。

コロナの影響で都市間バス（札幌急行線と新夕張発栗山経由新札幌行）の乗客数が減少しており、収入が下

限を割り込んでしまうと国と道からの補助金対象にならなくなるので沿線の関係市町に協力をお願いしていきたい。

今までは、自社負担を貸し切り事業での収益で穴埋めをしていたが、コロナの影響で貸し切り事業は乗合事業以上厳しい状況である。

議会 今後の乗客数の見通しは

夕鉄 人口減少なども考えると減った利用客が増加するとは考えられない。

議会 人口減少と高齢化が進んでいく中で地域公共交通を守っていかなければならないが、10往復を維持していくのは難しくなっていくのではと思うが見解をお聞かせください。

夕鉄 夕張市の希望で10往復走らせており、赤字も補填されているので良いが、利用は少ないのが現状である。

夕鉄 二年後の市内線だけでなく、五年後のデマンドだとかを考えていかないと、この町の交通を維持できなくなっていくと思う。

第一交通株式会社

第一交通株式会社事務所で会社側から部長他二名と議員四名とで意見交換を実施しました。

第一 数年前からスクールバスを委託いただき感謝している。

職員の高齢化もあり、営業時間も

以前は午前一時までだったが、午後五時（スクールバスの便）までの営業が基本となった。

議会 通常のタクシーを予約できるか。現在の運転手の体制とは。

第一 午後八時まで予約できる。4人を2人ずつに分けての2台体制としている。

今年に限って言えばタクシーの利用率は半減した。

議会 人材の確保の状況とは。

第一 職業説明会で一人就職した。若い人を雇いたいけど運転手の給料が低いので年金者でないとやっていけないのが現実である。

今以上に従業員を増やすのはキツイが、交通は存続することが大事であると思っている。



丸北ハイヤー有有限会社

丸北ハイヤー事務所では会社側から社長と議員三名とで意見交換を実施しました。

丸北 現状はできる範囲内ですが、タクシー

事業のように待機するような仕事ではなく、市役所からの依頼が主となって、デマンドバス、スクールバス、透析患者輸送等できる範囲内で運行している。

通常のタクシーは、午後5時までは受けられない状況である。

午後5時以降の部活便は、社長1人に対応している。

議会 本来のタクシー事業は割合にしたらくらいか

丸北 午後5時までは歯医者を送迎、一日おきに岩見沢、ス

クールバスに2台を確保しなければならぬので、電話をもらったのタクシーは、午後5時までは受けられない状況である。車両はあるが、人員的に受けられない。

議会 デマンドバスで帰る便を早めてほしいとの要望があるが

丸北 デマンドバスで帰る便を早めてほしいとの要望がある

のは承知しているが、住民の意向に沿って帰り便を早めるには一人一台運行で南部便、真谷地便を運行している現状では絶対に無理であり、市民にも協力をお願いしたい。



子どもの未来ミーティング

令和3年11月9日に議会基本条例に基づきゆうばり小学校において、子育て世代を対象とした議会との意見交換会「子どもの未来ミーティング2021」を開催しました。

保育園から小中高の保護者教職員17名にご参加いただき、「夕張に住み続けるための施策、子育て世代のための施策と新たな議員のなり手確保」などについて様々な意見交換ができました。



頂戴したご意見について、議員全員で情報共有し、早速、12月議会において一般質問で市長に質しました。答弁内容については議会日より一般質問をご覧下さい。

保護者

「公設塾キセキノ」を小中

「キセキノ」は市内における高校生の学力の向上及び目標進路の実現並びに社会で活躍できる人材を育成し多様な交流をとおして「次の社会のカタチ」を探求することを目的に設置し運営

している。

現在、中学生についてはこれまで夏休み期間中に無料開放するなどの企画を行っている。

昨年3月5日の行政常任委員会で「キセキノ」について将来的には、小中学生にも塾について拡大させていくことを検討していきたいと考えているとの報告があった。



保護者

「りすた」にダブルベッド末端等を設置し、診療所とつないで遠隔診療（相談レベルで可）できるようにすれば、子育て世代は安心するのではないか。

保護者

市立診療所は総合診療科ないても大概のことは対応可能だが、診療所のアナウンスも不足しておりあまり知られていない。

保護者

病院以外に気軽に相談できる窓口があると安心する。「りすた」に相談窓口があれば、利用しやすい。

夕張市子育て世代包括支援センターを開設

夕張市は、4月から保健福祉課保健係で地域のすべての子どもを大切に守り育てるため「夕張市子育て世代包括支援センター」および「子ども家庭総合支援拠点」を設置して、子育て世代への包括的な支援と安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいる。

市役所2階に「夕張市子育て世代包括支援センター支援室」として相談スペースを設けて相談業務に対応している。対象は主に妊産婦および乳幼児並びにその保護者（18歳までの子と保護者も可）

また、「りすた」にも「子ども・子育て支援係」を設置して相談業務にも対応している。

教職員

バス料金に子ども向け特別料金を設定し、低額で市内全域を移動できるようにしてはどうか。（交通事業者への支援にも繋がる）

保護者

呼ぶ取り組みを考えては。

保護者

夕張市のツイッター更新が遅い。非常時に使えないのではないか。

保護者

夕張高校は現在地域連携特別校だが限界があるのではないか。市外からの生徒を受け入れる体制整備が必要と考える。

地域連携特別校とは？

北海道教育委員会では、地域の教育機能の維持向上の観点や高校が地域で果たしている役割等を踏まえ、第1学年1学級の高校のうち、地理的状况等から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校を地域連携特別校として位置付け、存続を図っている。

5月1日現在の第1学年の在籍者数が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は再編整備が進められる。しかし、20人を下回ったとしても、所在市町村をはじめとした地域における、高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した上で再編整備を留保する。ただし、この場合にあっても、5月1日現在の第1学年の在籍者数が2年連続して10人未満となった場合は、再編整備が進められる。



複合施設「りすた」にグランドピアノ移設を求める請願



拠点複合施設「りすた」にグランドピアノの移設を求める請願が署名1,411筆を沿えて11月19日夕張音楽協会他三団体より議長に提出されました。

請願は行政常任委員会に付託され11月25日の行政常任委員会で審査されました。

審査は、紹介議員の千葉議員と小林議員から趣旨説明を受け、質疑、討論後に、審査の取り纏めを行い、次のとおり趣旨採択すべきものとされました。



1. 趣旨採択し、市長に送付すべきものとする。

2. 意見

請願者の願意については委員会も理解するが、移設は、管理者と各利用者との間でルールを検討・決定し実現されるべきものであり、経費については市が負担すべきもので、財政再生団体である本市は検討する時間も必要と考える。

12月9日の第4回定例会で委員会報告のとおり、全会一致で趣旨採択されました。

趣旨採択とは

請願に対する議会の意思決定は、理論的には「採択」か「不採択」の2種類しかありませんが、議会としては、請願の願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に、不採択とすることもできないとしてとられる請願に対する決定の方法をいいます。

2000年以降の請願審査結果

2001年(H13) 10月

丁未風致公園パークゴルフ場造成に関する請願(採択)

2007年(H19) 2月

住み続けられる夕張の再生を求める請願(財政再建調査特別委員会に付託 継続審査)

2015年(H27) 9月

安全保障関連法案に関する意見書採択についての請願(採択)

2015年(H27) 12月

介護報酬の再改定を求める意見書採択についての請願(不採択)

2017年(H29) 3月

介護保険制度の見直しを求める意見書採択についての請願(採択)

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書採択についての請願(みなし不採択)

夕張市議会だより編集委員会

委員長	君島孝夫
副委員長	熊谷桂子
委員	小林尚文
委員	本田靖人
委員	千葉勝
委員	高間澄子
委員	今川和哉

2年ぶりにマウン
ト・レースイスキー場
のにぎわいをネット上
の書き込みや動画で拝
見。レースイのHPで
は、メロン熊がスキー
の凄腕を披露していて
びっくり。うれしい新
年になりました。
さて、12月議会では
4年ぶりの請願があ
り、審査をおこないま
した。請願は市長や議
員の選挙以外で、皆さ
んのご意見を市政に反
映するための直接的な
システムです。自分た
ちのまちを暮らしやす
いまちにするために、
ぜひ使いこなしてくだ
さいね。

編集後記